

ISBN-4-87805-013-6

定価：本体価格 500 円 + 税

もくじ Contents

- 02 **ご挨拶** Foreword
- 04 **博物館の保存科学** Conservation Science for Museums
- 08 **縁先美人図** Beauty Standing at the Verandah
- 14 **深鉢形土器** Deep Bowl
- 18 **蜀江錦褥残欠(表裂)** Fragment of a Mat(Shokkō-kin)
- 22 **上野博物館遠景之図** Distant View of Ueno Museum
- 26 **銀象嵌鐔** Iron Sword Guard with Silver Inlay
- 30 **如来座像** Seated Buddha
- 34 **用語解説** Glossary
- 38 **平成 13 年度修理作品リスト** List of Works Restored during the Fiscal Year 2001

編集 / 東京国立博物館企画部保存修復課 神庭信幸・澤田むつ代・土屋裕子・和田浩 英文訳 / 松原美智子 デザイン / クバプロ

KUBA PRO.

発行日 平成 14 年 9 月 6 日
編集 東京国立博物館 企画部保存修復課
発行者 松田 國博
発行所 株式会社 クバプロ
〒 102-0072
東京都千代田区飯田橋 4-6-5 NKS 飯田橋ビル 4F
TEL 03-3238-1689 FAX 03-3238-1837
E-mail : webmaster@kuba.co.jp
http : //www.kuba.co.jp/
印刷所 株式会社 技報堂

First published in Japan in 2002
Edited by Tokyo National Museum Conservation Division
Published by KUBAPRO Co., Ltd.
4-6-5 NKS Iidabashi Bld. 4F
Iidabashi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0072 Japan
TEL 03-3238-1689 FAX 03-3238-1837
E-mail : webmaster@kuba.co.jp
http : //www.kuba.co.jp/
Printed by Gihoudou Co., Ltd. in Japan

うえのはくぶつかんえんけいのず
上野博物館遠景之図

ジョサイア・コンドル(1852 ~ 1920)筆
紙・水彩 62.1 × 97.1 cm
明治 14年(1874)

Distant View
of Ueno Museum

By Josiah Conder (1852-1920)
Watercolor on paper, 62.1 × 97.1 cm
Meiji period, dated 1874

Restoration

The surface of the painting was greatly soiled and deformed. The lining of thin *washi* (Japanese paper) on the back of the painting had been mended with a strip of another *washi*. In this restoration, the soiling on the surface was removed mechanically with an eraser (clay type, oil free) while the soiling on other parts was removed by applying moisture and using blotting paper. Old lining was not removed, but the old mended portion was first removed and newly mended with *washi*. Once the painting had dried, moisture was reapplied and the painting was pressed. Finally, it was mounted on an acid-free, window-type folder.



写真 1 修理前(側光線写真)本紙表面にはしわが多数生じている。

Photo 1 Before restoration (taken with a slanting ray of light) Many wrinkles are visible on the surface.

作品について

明治 13 年に竣工し、第 2 回内国勸業博覧会の会場に使用された後、日本で最初の博物館である帝室博物館(現東京国立博物館)本館となった建物の水彩画である。コンドルは明治 10 年に来日し、数々の洋風建築を手がけた著名な建築家である。

修理前の状態

この水彩画は洋紙に墨入して彩色したものである。和紙による裏打ちが施されていた。当初、額入りだったとも考えられ、汚れや色落ちが著しい状態であった(写真 1)。支持体である紙は、厚さ 0.25 ~ 0.28mm で、画面左下に透かし(ウォーターマーク)があり、イギリスのワットマン製の洋紙であることがわかる。色は明るいクリーム色で四辺は刃物により切断されている。

画面は、鉛筆による下書きの上に透明水彩絵

具による淡彩によって描かれている。紙の色を生かした薄塗りで、一部、噴水の水などに白色絵具を厚く塗って表現している。

作品は台紙へ袋状に周縁部のみで接着されていたため、周縁部以外の画面には縦方向の強い波打ち状のしわが多く生じていた(写真 1、2)。凸状変形部分では、こすれなどの摩擦により絵具層が剥離している。画面周縁部では接着剤や紙片の付着がみられ、また、絵具層の剥離も生じていることから、窓型マット台紙が装着されていたと思われる。光にさらされていた画面では支持体が黄変している。

画面・裏面ともに経年による汚れが付着していた。特に画面左の汚損が著しく、黒ずんだ状態であった(写真 3、5)。画面の右辺中央には横方向に長さ約 120 mm の破れが生じていたが、裏面側から厚手の和紙で繕いが施されていた(写真 2)。

写真 2 修理前裏面(側光線写真)向かって左側に和紙の裏打ちの上から施された繕いがある。

Photo 2 Back, before restoration (taken with a slanting ray of light) Washi used for mending is visible on the left side of the lining.



左下：写真 3 修理前部分(画面向かって左下)。

Photo 3 Before restoration (detail, lower left portion)

右下：写真 4 修理後部分(画面向かって左下)。

Photo 4 After restoration (detail, lower left portion)

